



# 学びの庭

## 学校教育目標

自ら学ぶ生徒 人を尊ぶ生徒 自ら鍛える生徒

## 「叡明高校野球部（甲子園出場） 中村 要 監督からのメッセージ」

（略）今日は、皆さんにお年玉があります。それは、監督に就任してわずか7年で、昨年夏の全国高校野球大会において埼玉県代表として甲子園出場に導いた叡明高校野球部監督中村要監督のインタビューです。先月叡明高校に行き、皆さんのために「成長のヒント」を伺ってきました。今からそのインタビュー映像を流します。中村監督の言葉の1つ1つを自分事として受け止めてください。

～インタビュー映像放映（叡明高校野球部 中村 要 監督）～

中村監督の言葉には、「本気で頂点を目指す者」の重みがありました。監督のお話の中に、皆さんの学校生活、特に3学期に直結する「大切な共通点」が、3つありました。

1つめは、「誰かのために」が「自分の学び」を加速させるということです。「仲間のために、自分を支えてくれる人のために自分の役割を果たすこと」をおっしゃっていました。これは、学習も同じです。2学期終業式のアンケートで「毎日家庭学習をする」という項目が低かったのは、「自分一人のため」だと思っているからではないでしょうか？3年生の数値が高いのは、自分の進路が家族や先生、そして共に励まし合う仲間の期待につながっていると自覚しているからだと思います。これから家庭学習を頑張ろうと思っている皆さんは、「自分の成長がクラスの活気を作る」や「自分の努力が家の人への感謝につながる」と考えてみてください。「誰かのために」という視点を持つことで机に向かうエネルギーは必ず変わります。

2つめは、「根拠のある行動」を家庭学習につなげるということです。監督が強調された「根拠のある行動」、つまりなぜその練習をするのか、なぜその行動をとるのかを考える力です。これを学習に置き換えたものがPDCAサイクルです。Plan（計画）今日、何を理解するために机に向かうのか？Do（実行）実際に学習する。Check（評価）2学期終業式で話した「アクティブリコール」ができていないか？Action（改善）理解できていなければ、書くことや学び合いの方法を変える。なんとなく授業や家庭学習に取り組むのではなく、この時間は〇〇を覚える、理解すると言える学習をしてください。

3つめは、「アクティブリコール」という攻めの学習ということです。監督のおっしゃる「根拠のある行動」の具体策として、2学期終業式で話した「アクティブリコール」を徹底してください。「書き出す」という出力、「学び合い」という相互作用、これこそが脳を最も効率よく働かせる根拠のある学習方法です。部活動の時に仲間と声を掛け合ったり、動きを確認し合ったりするように、教室で、家庭で、学習に対してアクティブに向き合ってください。

今年は午年です。馬は古来より、目的地へ力強く進む象徴です。この3学期は、学年の締めくくりであると同時に次のステージへの「助走期間」です。中村監督の言葉を胸に、3年生は、悔いのない進路実現に、1、2年生は、新学年への土台作りに、大きく飛躍することを期待して、式辞といたします。（3学期始業式式辞より一部省略）

第60回記念 郷土を描く  
児童生徒美術展

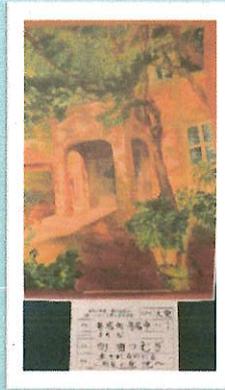
1年生 町田つむぎ さん

県知事賞 受賞

「木もれ日ゆれる～初夏の廃院～」

おめでとうございます。  
ますますの活躍を期待しています。

(寄居中からは2年連続の受賞です)



第77回埼玉県中学校英語弁論大会

3年生 峯岸優妃 さん  
(大里地区大会 第1位)

会場:さいたま市  
浦和コミュニティーセンター

おめでとうございます。  
ますますの活躍を期待しています。



一斉総合「生徒が創りたい寄居のまち」町長への提言

12月23日(火)に、本校体育館にて、標記のシンポジウムが開催されました。峯岸克明・寄居町長をお迎えして、寄居中・城南中・男衾中の代表生徒が、町長へ「提言」を行いました。寄居中からは「安全防災ゼミ」が代表し『ふるさと寄居を災害から守ろう。』をテーマとして、発表を行いました。保護者の方や地域の方も参観され、大変有意義なシンポジウムとなりました。



峯岸克明 寄居町長



本校代表 倉田さん・関谷さん

令和7年度「道徳のまち・寄居」道徳講演会

12月15日(月)に、本校体育館にて、標記の道徳講演会を行いました。寄居町にお住まいで、メディア出演等でも活躍されている、防災アドバイザー(元東京消防庁救助隊)の田中章様を講師に迎えました。この講演会を迎えるまでに、各クラスで事前に道徳の授業で事前学習を行いました。また、教材をtetoruにて保護者のみなさまに配信しました。是非、各御家庭でも「命の尊さ」についてあらためて話題にして頂ければと思います。



【PTA担当より】第2回資源回収では大変お世話になりました。

【教育委員会より】町費英検に向け「よりE土曜塾」に御参加下さい。

1月行事予定

日	曜日	行事(1月)
1	木	元日 冬季休業日(日直を置かない日)
2	金	冬季休業日(日直を置かない日)
3	土	
4	日	
5	月	冬季休業日
6	火	冬季休業日
7	水	冬季休業日
8	木	3学期始業式 職員会議 3年身体測定
9	金	全学年実力テスト・避難訓練・給食開始
10	土	より・E土曜塾
11	日	より・E土曜塾 寄居町二十歳式
12	月	成人の日
13	火	学校訪問(全部活動中止)
14	水	2年身体測定
15	木	生徒会の日 地域学校保健委員会 1年身体測定
16	金	特別支援学級身体測定
17	土	より・E土曜塾
18	日	より・E土曜塾
19	月	安全点検日 職員研修
20	火	給食集会(朝) PTA総務会 3校合同花いっぱい運動(桜沢小)
21	水	
22	木	私立入試中心日
23	金	私立入試中心日 2年東京見学
24	土	町費による英検(1・2年生)
25	日	
26	月	職員研修(人権・同和教育)
27	火	
28	水	寄居中学校区健全育成協議会講演会 (寄居小)
29	木	
30	金	
31	土	より・E土曜塾
行事(2月)		
1	日	
2	月	職員会議
3	火	全校朝会
4	水	3年学年末テスト
5	木	3年学年末テスト 生徒会の日
6	金	
7	土	より・E土曜塾
8	日	開校記念日 第71回寄居町駅伝大会
9	月	学年会議
10	火	1・2年生授業参観・学級懇談会 2年学級立志の会・1年修学旅行説明

【2月の主な予定】

2/18~20 : 1・2年生学年末テスト

2/26~27 : 埼玉県公立高等学校入試(5科・面接・実技)



過日よりお知らせしています通り、3学期に校地内の老木・クビアカツヤカミキリ被害の桜の木を伐採します。

～インタビュー映像（叡明高校野球部 中村 要監督）～

- 1 学生時代、勉強と部活の両立はできていましたか？どのように工夫しましたか？  
A 私はどちらかというと、野球の方に偏っていました。それは良くなかったなと反省して、今は生徒たちに、勉強して考えることを習慣にすることが大事なんだということを指導しています。学習する時間を生徒にできるだけ与えています。
- 2 監督になる前は、自分自身でも野球選手をしていましたか？  
A 小学校4年生から野球を始めて、16年間プレーヤーとして頑張ってきました。
- 3 教える立場として大切にしていることはどんなことですか？  
A 野球だけではなく、生活面も含めて良いものは良い、ダメなものはダメとはっきり指導してあげること。その上で、その日その日で自分がぶれないようにしていくことを意識しています。選手の変化を見逃さないように、表情も含めて、毎日毎日選手をしっかり見ることを大事にしています。
- 4 監督としてどんなことが一番大変ですか？  
A チームを同じ方向に向かわせたり、一丸となるようにさせたりする導きが一番大変です。
- 5 悔しいことがあったとき、どのように自分と向き合っていますか？  
A まずは、その原因は絶対自分にあると、ベクトルを自分に向けます。そして、決して人のせいにするようなことにならないように、自分で乗り越えなくてはいけないんだと自分に言い聞かせています。
- 6 高校野球に限らず、チームや組織にはどのような選手、人材が必要ですか？  
A 自己中心的ではなくて、人への思いやりや人のために動ける、つまり献身的な選手、人材が必要です。
- 7 甲子園までの道のりで、一番の困難な時は、どんな場面でしたか？  
A 県大会の準決勝 山村学園戦で9回表2点リードしているところ、9回裏で同点に追いつかれた場面が一番困難な場面でした。（タイブレークで勝ちましたが、大変でした。）
- 8 選手たちには、試合前にどのような言葉をかけるのですか？  
A 試合が終わったときに後悔するようなプレーはやめようと前向きに失敗を恐れず、正々堂々とプレーしてきなさいということを伝えています。
- 9 チームが強くなる秘訣は何だと思いますか？  
A そもそも野球は、人がやるスポーツなので、技術以前に、人間力を高めることが一番大切だと思いますし、だらしない選手は、だらしないプレーしかできない、つまり基本的な生活習慣を確立するということがすごく大事になってきます。それが土台となって、次に技術の練習になると考えています。
- 10 どんなことを大切にレギュラーを選んでいきますか？  
A よく「心技体」と言いますが、私は「心体技」だと思っています。心がしっかりしていて、練習に耐え抜く体になっていて、その後に技術だと思っています。その「心体技」を持ち合わせている選手を選び、チー

ム全体のバランスを考えてレギュラーを決めていきます。個人的にはスピード感のある選手を選んでいきます。

11 ピンチの時、どのように乗り越えるのですか？

A まずは、慌てないこと、その傷口が広がらない方法を考えながら、失点を最小限に食い止めるためにどうしたらよいかというプレーを1つ1つ確実にさせる、そして乗り切っていきます。これは野球以外にも通用します。

12 好きな言葉、座右の銘は何ですか？

A 好きな言葉は、「意思あるところに道は拓ける」です。(アメリカ リンカーン大統領) どんな困難にも、自分の気持ち次第で必ず道は拓けて、目標を達成できるということです。座右の銘は、叡明高校の選手には常に言っていますが、「物事の本質をしっかりと捉えなさい」ということです。全てに意味があるから、何も考えないでやってはいけないという意味です。この2つは、大事にしている言葉です。

13 モチベーションを高める工夫を教えてください。

A 部活として考えると、仲間のために自分の役割を果たす、または果たそうと努力するという思考になれるかが大切なことになります。仲間のために起こす行動というのは、結局自分のためになっているはずですが。スマートフォンで遊ぶ時間を自分の努力の時間にシフトしていくことが大事だと思います。結果を出す人というのは、他人よりも相手チームよりも人に見えない努力をしているはずなので、それが必要だと思います。それがチームのために自信を持って試合に向かうメンタルになりますし、自分が負けそうなとき、諦めそうになったとき、仲間のことを考えてみる、個人競技をやっている人であれば、今まで自分に協力してくれた人等を思い出したりすると、人のために動こうということになるので、そういう考え方を持つことが大事だと思います。習慣化させることが大切だと思います。習慣にするのに最短で約3週間かかると言われています。それをものにしてしまい、そういう思考で生きていけば、いいのかなと思いますので、頑張っしてほしいと思います。

14 今後の目標や夢を教えてください。

A 高校野球において、激戦区埼玉をもう1回勝ち抜いて、2度目の甲子園に行くことです。さらには、勝利ができなかったので、甲子園の舞台上、まず1勝して校歌を歌うことが今後の目標であり、当面の夢です。

15 寄居中学校の生徒へ激励の言葉をお願いします。

A 皆さんには、根拠のある行動をとる習慣を身につけてほしいです。行き当たりばったりではなくて、計画を立てることから始める、そしてそれを実行する、ある程度実行したら振り返ってそれを確認する、できていなければ再度計画を立てる、そのサイクルを意識することによって、準備することの大切さに気づけるとと思います。準備がなければ高貴ある行動はとれないということも理解できるようになるとと思います。人生遠回りして学ぶこともあると思いますけれども、あまりのんびりしすぎると、世の中のスピードについて行けなくなる、1日は24時間とみんなに平等なものなので、そこをどのように創っていけるか(行動できるか)が大事だと思います。